

平成29年度公益財団法人鳥取県畜産振興協会事業報告

I 総括

1 組織運営について

(1) 評議員会、理事会の開催と主な事項

開催日	項目	議題
平成29年 4月 7日	第11回理事会	平成28年度事業報告、財務諸表の承認について 資産取得資金積立の承認について 諸規程の改正について 第10回評議員会の招集について
平成29年 4月24日	第10回評議員会	平成28年度事業報告財務諸表の承認について 資産取得資金積立の承認について 役員、評議員の選任について
平成29年 4月24日	第12回理事会	理事長、専務理事の選定について
平成29年 7月15日	第13回理事会(書面)	第11回評議員会の開催について
平成29年 7月24日	第11回評議員会(書面)	評議員の補欠選任について
平成30年 1月 5日	第14回理事会(書面)	第12回評議員会の招集について
平成30年 1月17日	第15回理事会	平成30年度事業計画、収支予算の承認について 諸規程の改正について
平成30年 1月17日	第12回評議員会	平成30年度事業計画、収支予算の承認について

(2) 監査

平成29年 3月28日 平成28年度決算監査

(3) その他

平成29年 8月 8日 運営組織及び事業活動状況に関する立入検査(県行政監察・法人指導課)

平成29年 9月15日 出資団体等に係る事務監査(県監査委員事務局)

平成29年10月25日 岐阜県農畜産公社飛騨牧場

27日 ~ 近江西川畜産(株) 現地視察

## 2 各事業報告について

### (1) 放牧預託事業

平成29年度の放牧延べ頭数は、前年度に対して4,190頭の増。内訳は、乳用牛が11,074頭の増、肉用牛が6,884頭の減であった。これは、技術職員の体制整備等飼養管理の改善に努めたことにより、乳用牛は預託希望頭数が大幅に増加したが、肉用牛については冬期舎飼の頭数制限をかけたことにより減少した。これにより、預託料は前年度に比べ2.4%増、5,619千円の増収となった。

牧場名	畜種	平成29年度		平成28年度		前年対比(%)
		延頭数(頭)	預託料(千円)	延頭数(頭)	預託料(千円)	
鳥取放牧場	乳用牛	149,132	90,970	156,756	95,621	95.1
	肉用牛	66,123	32,666	73,007	33,802	96.6
大山放牧場	乳用牛	184,406	112,488	165,708	101,082	111.3
	肉用牛					
合計	乳用牛	333,538	203,458	322,464	196,703	103.4
	肉用牛	66,123	32,666	73,007	33,802	96.6
	計	399,661	236,124	395,471	230,505	102.4

### (2) 人工授精、移植、採卵事業

受胎率の向上を図るため、飼養管理のやり方等を重点に改善に取り組んだ。

人工授精は、前年度に対して延べ130頭増、精液代金の値上げ等もあり647千円の増収となった。

受精卵移植は、延べ17頭の減、畜産試験場の繁殖和牛の受精卵販売は、採卵頭数の減、1頭当たりの採卵数の減により併せて4,531千円の減収となった。

採卵は、農家庭先採卵頭数が延べ11頭増、440千円の増収となった。

#### ① 事業実施状況

区分	平成29年度		平成28年度		前年度対比(%)
	延頭数(頭)	手数料(千円)	延頭数(頭)	手数料(千円)	
人工授精	1,598	4,719	1,468	4,072	115.9%
受精卵移植	279	3,013	296	3,197	94.2%
受精卵販売	(112個)	2,419	(313個)	6,766	35.8%
受精卵採卵	258	11,645	247	11,205	103.9%
合計	2,135	21,796	2,011	25,240	86.4%

#### ② 受胎状況

区分	平成29年度			平成28年度		
	延頭数(頭)	受胎頭数(頭)	受胎率(%)	延頭数(頭)	受胎頭数(頭)	受胎率(%)
人工授精	1,598	879	55.0	1,468	764	52.0
受精卵移植	581	279	48.0	533	296	55.5
合計	2,179	1,158	53.1	2,001	1,060	53.0

(3) 牧草管理事業

鳥取放牧場において牧草地の更新を計画的に実施してきたが、平成29年度の牧草収穫量は前年度に比べて23.2%減少した。これは、1番草を猪・鹿に採食、2番草を県下一円に大発生したアワヨトウムシに被害された被害によるものであった。

大山放牧場においては、高性能機械を導入したことにより、1番草、2番草が計画どおり適期に収穫された。その結果、アワヨトウムシの被害被害はあったものの、前年度の様な刈り遅れ、立ち枯れ等が無かったことにより2.2%の増収量となった。

全体で見ると、採草面積は前年度とほぼ同じであったが、収穫量は鳥取放牧場における鳥獣、ヨトウムシ等による採食被害により10%の減、平均反収も約10%の減収量となった。

① 牧草生産状況

区分	平成29年度			平成28年度			前年度対比		
	採草面積	牧草収穫量	平均収量	採草面積	牧草収穫量	平均収量	採草面積	牧草収穫量	平均収量
鳥取放牧場	43.0ha	348.0t	8.1t/ha	43.8ha	453.0t	10.3t/ha	98.2%	76.8%	78.6%
湖山畑	26.0ha	499.5t	19.2t/ha	26.0ha	578.0t	22.2t/ha	100.0%	86.4%	86.5%
大山放牧場	83.6ha	676.0t	8.1t/ha	83.6ha	661.2t	7.9t/ha	100.0%	102.2%	102.5%
合計	152.6ha	1,523.5t	10.0t/ha	153.4ha	1,692.2t	11.0t/ha	99.5%	90.0%	90.9%

② 自給率

区分	平成29年度	平成28年度	前年度対比
牧草購入量	1,326.7t	1,480.0t	89.6%
牧草収穫量	1,523.5t	1,692.2t	90.0%
計	2,850.2t	3,172.2t	89.8%
自給率	53.5%	53.3%	

③ 牧草生産状況

区分	平成29年度		
	前面更新	簡易更新	計
鳥取放牧場	2.6ha	4.8ha	7.4ha
大山放牧場	7.5ha	6.1ha	13.6ha
合計	10.1ha	10.9ha	21.0ha

事業報告に係る附属明細書

記載事項なし